

最上小国川清流未来ニュース 第3号

(平成27年8月、発行：最上小国川清流未来振興機構)

7月25日(土)、最上町中央公民館において、最上小国川流域の地域づくりについて理解を深めるシンポジウムを開催しました。第3号では、シンポジウムの概要をお知らせします。

「身近なことから始める地域づくり」



1 あいさつ

開会にあたり、主催者(最上小国川清流未来振興機構)を代表して、悪七本部長からあいさつを申し上げます。

流域の自治体を代表して、高橋最上町長、奥山舟形町長からご挨拶をいただきました。

来賓として、伊藤山形県議会副議長からご挨拶をいただきました。



悪七本部長



高橋町長



奥山町長



伊藤副議長

2 基調講演「身近なことから始める地域づくり」

齋藤主税さん/都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター 理事・事務局長

<講演の概要>

最上町と舟形町の人顔見知りになることが、かけがえのない財産であり、連携した地域づくりへの第一歩であるとお話がありました。

地域づくりを進めるうえで3つのポイント(①関わる人たちの人間性(ハート)、②共感を生む良好な仕組み(ソフト)、③地域固有の物的資源(ハード))があるが、まずは、地域づくりに関わる人のハート(気持ち)を高めることが大切であると指摘されました。

「地域資源(例:地域の歴史を知っている人)」を「地域財(地域の歴史を説明できるガイド)」に磨き上げること、たくさんの「地域財」を持つことの重要性を指摘されました。

最後に、最上町と舟形町の人顔見知りになるためのきっかけとして、住民、NPO、まちづくり協議会、企業、行政等が一堂に会して情報・意見交換を行う交流会を開催してはどうかのご提案をいただきました。



齋藤主税さん

3 パネルディスカッション

最上町または舟形町で地域づくりに取り組んでいる方をパネリストに迎え、パネルディスカッションを行いました。

○コーディネーター

斎藤主税さん／都岐沙羅パートナーズセンター

○パネリスト

奥山征一郎さん／山と川の学校

曾根田真利子さん／舟形町女性消防団

板垣善悦さん／最上町ボランティアガイド協議会

伊藤恵子さん／舟形町振興公社

高橋久さん／子ども大人もきらめくまじやれ会



<パネルディスカッションの概要>

まず、パネリストの普段の活動についてご紹介していただきました。

斎藤さんからは、「教育委員会が異なる小学校から高等学校までの生徒を対象にした環境教育は、全国でも珍しい」などのお話がありました。

斎藤さんからの「よりよい地域にするためにしていきたいこと、必要なことは」との質問にパネリストからは、

「きれいな最上小国川を守り育て、子どもたちに引き継ぎたい」

「住民の命を守る消防団で、地域のために一緒に活動しませんか」

「行政に頼るのではなく、自分たちで出来ること（あいさつ運動や草むしり等）を続けていきたい」

「全国のアユが一堂に集まるサミットを考えてみたい」

「子どもが変われば大人も変わる（例：子どもが道端のゴミ拾いをすると赤倉を訪れる人がタバコのポイ捨てをやめる）取り組みを続けていきたい」などの意見が出されました。

最後に斎藤さんから、「地域を守り、子どもたちに引き継ぐためには、住民が町の垣根を越えて連携し、地域全体の取り組みに広がっていくことが大事である」とのまとめのお話をいただきました。



奥山征一郎さん



曾根田真利子さん



板垣善悦さん



伊藤恵子さん



高橋久さん



○ 当日は、パネリストの普段の活動を紹介するパネルを展示しました。

お問合せ先：最上小国川清流未来振興機構（山形県 最上総合支庁 総務企画部 地域振興課内）青木・瀬野
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上2034
電話 0233-29-1238 Email - ymogamishinko@pref.yamagata.jp